

# わがゆめ倶楽部 楽部

NPO法人えべつ楽友協会

Gakuyu Club

第17巻

第1号

(通巻34号)

発行日

令和7年5月10日

発行人

NPO法人えべつ楽友協会



晴らしい演奏は、  
札幌メンバーの力  
量はもちろんでは  
あるが、当然太田弦  
氏の棒によるここ  
ろが大である。指揮  
棒を持たない(以前  
は使用していたよ  
うだ)スタイルの彼  
の指示は、実に明確  
でリズム重視のこ



今回の指揮は札幌市出身の太田弦氏。プログラムは第一部が「クラシック」、休憩をはさんで第二部は「ポップス」という、クラシックファンのみならず多くの人に馴染みがあり、誰しもが楽しめる曲目が並んだ。聞くところによると、このようにポップスが入るのは、札幌江別公演では初めてということだ。その効果もあったのだろうか、子ども連れも多く、客席もほぼ満席に近い盛況ぶりであった。

前半第一部は、連続テレビドラマ「のだめカンタービレ」でも使われ、知った方も多いベートーヴェンの「交響曲第7番イ長調Op.92」。全体を通してリズムが支配する曲であるが、札幌の底力を感じさせる技術に裏付けられた、精緻なアンサンブルを聴かせた。

まずは第1楽章、生き生きとしたリズム感が際立ち、管楽器と弦楽器が融合した終結部も見事だった。唯一の短調楽章である第2楽章では、悲哀感の中にも「アレグレット(やや速く)」の指定にそった、躍動感を失わないテンポで聴かせた。そして、第3楽章から最終楽章へとエネルギーを受け継ぎ、ロックやポップスを彷彿させるビートの利いたリズムが執拗なく繰り返り返され、熱狂と陶酔のフィナーレへと導かれた。この素

江別市制70周年記念  
札幌えべつコンサート「クラシック&ポップス」

2024年5月19日(日)  
江別市民会館



の曲を正確にコントロ  
ールする。また、やわら  
かな流れを醸し出す手  
さばきからは、豊かで  
芳醇な音が紡ぎだされ  
た。堅実かつ生命感に  
あふれたダイナミック  
な今回の演奏からは、  
この若きマエストロの並  
々ならぬ力を感じるとも  
に、対峙する札幌との  
相性の良さも感じた。こ  
のペアでまた是非「3  
番」、「5番」も・・・と  
聴いてみたくなったの

は私だけだろうか？

休憩後の第二部は、NHK大河ドラマ「どうする家  
康」のメインテーマで壮大に幕を開け、二曲目の「ドラ  
ゴックエスト」の序曲Xと続いた。ピアノやハー  
プ等、楽器編成も増員され、響きが重厚かつ多彩にな  
り、また、親しみのある選曲によって、客席のボルテ  
ージも高まっていくのが感じられた。指揮者による  
MC、「江別市には親戚がいて」のくだりも、ポップ  
スステージに相応しく、会場が心和んだ瞬間でもあっ  
た。

次に3曲、映画音楽が続いたが、まずは「風と共に去  
りぬ」のタラのテーマ、そしてE・モリコーネの作品が  
2曲、「ミッション」のガブリエルのオーボエ、「ニユ  
ー・シネマ・パラダイス」の愛のテーマである。ガ  
ブリエルでのオーボエは、情緒豊かな旋律を存分に  
表現した秀逸な独奏を聴かせていた。ニューシネマ  
も、コンサートマスターの情感たっぷりのソロも相ま  
って、モリコーネの旋律美が存分に堪能できた。

ラストの2曲も映画音楽からの選曲。まず「パイレ  
ーツ・オブ・カリビアン」の彼こそが海賊は、シリ  
ーズ第一作「呪われた海賊たち」のハイライト版にな  
っており、勇ましく壮大なテーマから美しい劇中歌ま  
で詰まった、心躍る作品。そして続いたラスト曲は  
「スター・ウォーズ」のメインタイトル。ひととき

パワフルに鳴り響く金管、鮮やかにきらめく木管が際  
立ち、トゥッティ(総奏)では、こころ一番ダイナミック  
で圧倒的なサウンドを聴かせ、客席からは今日一番の  
拍手が沸き立った。鳴りやまぬ感動に応えたアンコー  
ルは、デイズニー映画「ピノキオ」の「星に願いを」。  
すこぶる美しい調べで、この演奏会の幕を閉じた。  
客席で聴いていた多くの聴衆は、この日の札幌の演  
奏に心満たされ、脳裏に残るメロディーとともに帰路  
についたことだろう。また、子どもたちにとっても、オ  
ケストラの迫力あるサウンドが心に刻まれ、宝物を  
もらったような忘れられない日になったに違いない。

(A・M)

### 円熟のニューズ

村治佳織ギター・リサイタルに寄せて

2024年9月7日(土)

えぼあホール

## 本

日使用するギターは、『ジェイコブソン』彼女  
のトークで、まずギターの製作者の説明から  
始まり、曲に関する簡単な物語を聞かせてくれた。

『愛のロマンス』ではプロローグを足して、『森に夢  
見る』ではバッハを足して。本人の編曲で曲は自在に  
広がりを見せる。

坂本龍一とピアノとギターで2度演奏をしたと言っ  
て思い出の話。ホノルルから豪華客船『飛鳥』で、お客  
さんと共に移動しながらの演奏した事。作曲家『パ  
リオス』は口マンチックでシヨパンのイメージに似てい  
ると言っていた事。そして終盤の『メモリー』は、説  
明はなく演奏  
が始まったの  
は先入観なし  
に聴いて欲し  
いと言う事？  
前半の衣装  
はオーダー  
で後半は市  
販品。「誰で



©Nobuo MIKAWA

も買える服」と笑っ  
ていた。人脈も広  
く、様々な楽器は  
勿論、人とのコラ  
ボでも無限の可能  
性を見せてくれ、  
ユーモアもあり話  
題は尽きない。ア  
ンコールはファン  
投票とリクエスト  
から曲を選んでく  
れたそう、名残  
惜しい時間は遂に終わってしまった。

寡黙にコンサートを淡々とこなす方もいらつしやる  
が、私はこんな風に曲やエピソードについても語って  
くれる演奏者のコンサートが好きで、曲が『見える』  
感じがする。知っている景色が浮かんだり想像したり、  
全ての音楽に言える事だけれど、音楽とは耳で楽しむ  
だけではなく、取り巻く空気や歴史も感じつつ楽しむ  
ものと思っている。

演奏については、人生経験が音を豊かにすると語っ  
ていた言葉通り、確かに10代の頃から今までに音色は  
変化して、正確且つ綺麗な音が印象的だった始めの頃  
の印象が、今では全く別と言っても良いくらい丸みと  
柔軟性に富んでいる。

この先どんな風に変化するのか、また、しないのか。  
これからも、安心の安定感と驚きの両方を期待しつつ今  
後も楽しみにしている。

(A・O)

小さな雪だるまはポンツと弾んだ!

村治佳織さんとの思い出

も  
う14年も前の事。サイン会の会場で目の前の  
村治佳織さんに「ギターを弾く人ですか？」  
と聞かれた。右手の爪は長く左手の爪は短く。手を見



©Nobuo MIKAWA

ればギターを弾く人かどうか簡単に見分ける事が出来るにしても、まさかサイソンの会場で本人に聞かれるとは思っていなかった。今まで相当数のギター愛好家を前にしてサインをして来ただろうに、私がか特別に目を引いたとしたら、それは他の人より『村治佳織愛』に溢れていたからに違いない。



©Nobuo MIKAWA

別のコンサートではサイン会はなかった代わりに、出待ちして良いとの係りの方のお言葉で裏口に直行し、数名のお子様たちに混じってその時を待った。プレゼントを受け取ってくれた時、「これは何ですか?」「ガラスの小物です」短い会話のあと「小物好きなんです」と言いながら、左の肩に掛けたかばんの中にポンっと入れてくれた。何かの番組で、精巧な作りの小さな置物をお洒落な台に載せて披露しているのを見た事があったので、小物好きと知っていたからこそその選択。精巧とは言い難いけれど、ガラス細工の『小さな雪だるま』は、晴れて私から村治佳織さんの所有物に変わった。それ以後は、残念ながら言葉交わす機



©Nobuo MIKAWA

会はなかったが、代わりにメディアで見かける機会が増えた。それからギター以外にも多彩な才能を披露し続け、ますます活躍の場を広げて行った。高校生ギタリストと言われるのがイヤで、と語っていた高校生の頃の村治佳織は、どんな枕詞だ

つたら受け入れたのか。江戸っ子で度胸もあり大胆な印象。実は見た目よりカッコイイ女性だと思う。  
(沖野彩子)

子どもから大人までみんなで楽しめる!

「0歳からのわいわい音楽会」

2025年3月15日(土)

えびあホール



今年も世界旅行音楽団『つきのさん

ぼ』の四人組の皆さんが江別に来てくれました。毎年、世界各地の音楽を映像と共に届けてくれる素敵なグループです。

前半から会場内は盛り上がり、子ども達は楽器や音楽に興味津々!ステージ前に集まり始め、かぶりつきで聴く子が多数。これも『つきのさんぼ』のみなさんが、「今日は特別席を立てて体を動かしたり、踊ったりしても良い音楽会です。」との声かけがあればこそでした。「0歳からのわいわい音楽会」の名の通り、赤ちゃんを抱っこしながら聴いていたお母さん、お子さん連れのファミリーやおじいちゃんやおばあちゃんもいらっしやいました。休憩をはさんで、後半も楽しく音楽会は進み、最後のほうでは江別市のゆるキャラ『えべちゅん』が登場しました。そして、会場内から十人あまりの子ども達がステージに上がって太鼓のような楽器をたたきながら『風になりたい』と一緒に演奏しようというサプライズも用意されていました。みんなが手にして演奏できる「たまご型のマラカス」や口にくわえてしゃべると面白い音を出す「カズー」が口ピ



ーで販売され、子ども達それぞれに演奏に参加する姿もありました。自由な雰囲気の中でも、子ども達が羽目をはずし過ぎないようにそばに寄り添うお父さん・お母さん方がいて、こうして公共でのルールを学んでいくのだなあと感じる演奏会でもありました。

雪のちらつく土曜日の午後でしたが、当日券が100枚近く売れる盛況ぶりです、たくさんの方々(350人以上)に楽しんでいただけました。演奏会終了後には、再びロビーで『えべちゅん』と触れ合う時間もあって、皆さん笑顔で帰られたのが印象的でした。心がほっこりするコンサートでした。  
(上村郁美)



当協会が協力させていただいたコンサートについて

正統派新進行70周年記念

ポーランドからの贈りもの

ヤヌシュ・スコヴロン  
ピアノリサイタル

ポーランド国立ワルシャワ・ハンデルスタホ、クラクフ音楽院に学ぶ経験、ポーランド国立シエフ大学音楽学部ピアノ科主任教授

2025  
2/21 Open 18:30  
FRI Start 19:00

【演奏】  
1. 交響曲第1号 (ワグネル) 約15分  
2. 交響曲第2号 (ワグネル) 約25分  
3. 交響曲第3号 (ワグネル) 約25分  
4. 交響曲第4号 (ワグネル) 約25分  
5. 交響曲第5号 (ワグネル) 約25分  
6. 交響曲第6号 (ワグネル) 約25分  
7. 交響曲第7号 (ワグネル) 約25分  
8. 交響曲第8号 (ワグネル) 約25分  
9. 交響曲第9号 (ワグネル) 約25分  
10. 交響曲第10号 (ワグネル) 約25分  
11. 交響曲第11号 (ワグネル) 約25分  
12. 交響曲第12号 (ワグネル) 約25分  
13. 交響曲第13号 (ワグネル) 約25分  
14. 交響曲第14号 (ワグネル) 約25分  
15. 交響曲第15号 (ワグネル) 約25分  
16. 交響曲第16号 (ワグネル) 約25分  
17. 交響曲第17号 (ワグネル) 約25分  
18. 交響曲第18号 (ワグネル) 約25分  
19. 交響曲第19号 (ワグネル) 約25分  
20. 交響曲第20号 (ワグネル) 約25分  
21. 交響曲第21号 (ワグネル) 約25分  
22. 交響曲第22号 (ワグネル) 約25分  
23. 交響曲第23号 (ワグネル) 約25分  
24. 交響曲第24号 (ワグネル) 約25分  
25. 交響曲第25号 (ワグネル) 約25分  
26. 交響曲第26号 (ワグネル) 約25分  
27. 交響曲第27号 (ワグネル) 約25分  
28. 交響曲第28号 (ワグネル) 約25分  
29. 交響曲第29号 (ワグネル) 約25分  
30. 交響曲第30号 (ワグネル) 約25分  
31. 交響曲第31号 (ワグネル) 約25分  
32. 交響曲第32号 (ワグネル) 約25分  
33. 交響曲第33号 (ワグネル) 約25分  
34. 交響曲第34号 (ワグネル) 約25分  
35. 交響曲第35号 (ワグネル) 約25分  
36. 交響曲第36号 (ワグネル) 約25分  
37. 交響曲第37号 (ワグネル) 約25分  
38. 交響曲第38号 (ワグネル) 約25分  
39. 交響曲第39号 (ワグネル) 約25分  
40. 交響曲第40号 (ワグネル) 約25分  
41. 交響曲第41号 (ワグネル) 約25分  
42. 交響曲第42号 (ワグネル) 約25分  
43. 交響曲第43号 (ワグネル) 約25分  
44. 交響曲第44号 (ワグネル) 約25分  
45. 交響曲第45号 (ワグネル) 約25分  
46. 交響曲第46号 (ワグネル) 約25分  
47. 交響曲第47号 (ワグネル) 約25分  
48. 交響曲第48号 (ワグネル) 約25分  
49. 交響曲第49号 (ワグネル) 約25分  
50. 交響曲第50号 (ワグネル) 約25分

先日の「ヤヌシュ・スコヴロンピアノリサイタル」に際しましては、322名ものお客様にご来場いただき誠に有難うございます。

# これからの演奏会のご案内

## ◆松田 華音 ピアノリサイタル

日時：2025年9月20日（土）開演14:00

会場：えぼあホール

曲目：チャイコフスキー/「四季」  
ベートーヴェン/ピアノソナタ第14番「月光」他

## ◆0歳からのわいわい音楽会

日時：2026年3月16日（土）開演14:00

会場：えぼあホール

出演者、曲目：調整中

# NPO法人えべつ楽友協会入会のご案内

えべつ楽友協会は、江別市内の公的文化施設を主な起点として、音楽文化の普及向上をするために必要な事業を行い、地域社会の芸術文化の振興発展に寄与することを目的として活動しています。会の活動にご理解・ご賛同いただける皆様のご入会を心よりお待ちしております。

### ●会員の種別と年会費

(会員の種別)	(目的と役割)	(会費など)
正会員	会の運営に参加し活動する個人	5,000円
賛助会員	会を支援する個人	一口 5,000円
賛助会員	会を支援する法人	一口10,000円

### ●賛助会員の得点

- えべつ楽友協会が主催する演奏会のチケット料金を割引いたします。
- ◇個人会員：一口につき1,000円の割引券を3枚発行
- ◇法人会員：一口につき1,000円の割引券を6枚発行
- えべつ楽友協会広報誌「がくゆう倶楽部」や演奏会のご案内をお届けします。

### ●お問い合わせ

えべつ楽友協会事務局  
☎090-7652-6065 小林  
hiro232koba@bg.wakwak.com

## あとがき

この冬は江別にしては少ない雪でしたが、日本のどこかでは何度も押し寄せた強烈な寒波が記録的な大雪を降らせました。自然の力には抗えない、人間の存在を思い知らされます。でも、様々な困難を乗り越え、心の支えとなることの一つに、『音楽』があります。人間が創り出し奏でる『音楽』の力です。それは、歴史に刻まれ時代を超えて今も聴くことができます。次々と新しい曲が作られ、忘れられていくものもありますが、人々の記憶から消えることのない『名曲』がそれではないかと思えます。

今年度は、三年前に予定していた『村治佳織ギター・リサイタル』を開催することができました。村治佳織さんの元気な姿に安堵し、変わらぬ美しさに心を奪われた方が多いのではないのでしょうか。もちろん、ギターの色と卓越したテクニク、作曲・編曲の妙も十分に堪能していただけたコンサートになりました。ご本人のトークを交えての時間が貴重だったという声もいただき大盛況でした。

毎年恒例の『札幌えべつコンサート』は、札幌市出身の太田弦氏を指揮者に迎え、「クラシック&ポップス」のプログラムでの開催でした。多くの小・中学生と、そのご家族が聴きに來られました。こん後も、北海道唯一のプロのオーケストラである「札幌交響楽団」を、ぜひ聴きにいらしてください。

三月には『0歳からのわいわい音楽会』に、子育て中のお父さん・お母さんと小さなお子さんはもちろん、学生や熟年のご夫妻まで幅広いファンが来場されました。『えべつコンサート』もノリノリでした。

えべつ楽友協会では、冒頭でも触れた『名曲』を含め皆様に足を運んでいただけるような演奏会を企画していきたいと思えます。これからの演奏会で、音楽を愛する皆様とまたお会いできることを楽しみにしております。

(編集係)